

フライングディスク **身体** **知的**



選手は2種目に出場することができます。障がい区分に関係なく競技します。

投球の正確さを競う

アキュラシー

(ディストリート・ファイブ、ディストリート・セブン)

5mまたは7m離れた円形的の的に向かって10回投げ、的を通過した回数を競います。



投げた距離を競う

ディスタンス

ディスクを投げ、飛距離を競います。風によって60m以上飛ぶことも!



競技を深掘り

応援のときは??

フライングディスクは観客のみなさんの声を届けるチャンスが多くあります!

審判の『一投目!』の声かけのあとにみなさんも

一投目!

選手がナイススローのときは

ナイススロー!!

なんで色が違うの? [ディスタンス]

本番の前のテストスローでは黄色のディスク
本番は白のディスク
3投連続で投げるよ



選手の特性に合わせて競技します!

視覚障がいのある選手は、、、スローイングアシストラインと音源で方向を確認



同じように競える工夫がなされています

フライングディスクのここに注目!

フライングディスクの合言葉は【楽しくなければフライングディスクではない!】。選手の良さを引き出すために「選手の心を整える」ような、メンタル面を重視した声かけを行っています。

SAGA2024では、選手には全国の選手団との触れ合いを大切に、一つでも多くの感動体験してほしいと思っています。選手入場～ディスク渡しの姿勢～声かけ～花束贈呈～表彰～

万歳三唱まで、『選手ファースト』で行われる競技風景に注目してください。

香月文男監督



水泳 **身体** **知的**



◆自由形◆背泳ぎ◆平泳ぎ◆バタフライの各種目があり、それぞれ25mと50mの種目が行われ、知的障がい区分はリレー種目もあります。

SAGA2024ではリレーにも出場!//

練習風景紹介



目標に向かって一緒に頑張る仲間がいることが励みに!

泳いで、泳いで、ひたすら泳ぐ! 日々の練習の積み重ねが力になります。

Take your marks



ベストな泳ぎができるように気持ち集中!

スタートの合図からいかにタイムロスなく飛び出せるかもレースの鍵を握ります。



コーチの的確なアドバイスを受けて、さらに高みを目指します!

PICK UP!

安全に泳ぐための様々な工夫

水中からのスタートOK

「飛び込みスタート」または「水中スタート」が選択できます。

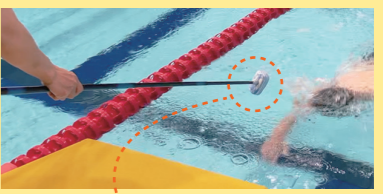


浮具の使用OK

身体に障がいがあり、一人で浮くことができない選手は、浮具を使用して泳ぐことができます。

タッピング

「タッピング棒」で選手の体に触れ、壁の位置を伝えることで、視覚障がい選手が壁にぶつかってケガをすることを防ぎます。



先端に柔らかい素材を付けた「タッピング棒」

津上選手のここに注目!

これまで競技には個人で参加してきましたが、「佐賀アクアチャレンジ」を結成してからは練習や大会などにも一体感を持って取り組めるようになりました。チームみんなで成長や達成感を共感できることで、自分ひとり以上の力が出せていると感じます。限られた運動機能を最大限に使うそれぞれに合った『オリジナリティの高い泳ぎ』に注目して、応援していただければと思います。

津上和也選手

